

古河に行こーか

Vol.4

開催概要

日時 6/1(土) 10:00～12:00 参加者 古河市在住の市民 18 名
会場 ヤクルトはなももプラザ 会議室

- 前回のふりかえり
● 市民委員会での検討状況の説明「施設の目指す姿」「古河市文化芸術振興基本計画」「ゾーニング」
● ワークショップについて・事例紹介
● グループワーク
● グループ発表（1 チーム 5 分程度）
● 次回予告・なんでもアンケートの記入等

第4回テーマ「新公会堂の使い方を考える」

令和6年6月1日(土)、「新公会堂の使い方を考える」をテーマとした第4回市民ワークショップを開催し、総勢18名にご参加いただきました。

今回は、これまでに考えた「やりたいこと」や「機能」、施設のコンセプトを踏まえ、施設の管理運営について、①施設で行うべき・重点を置きたい「事業」、②施設の基本となる「利用規則（ルール）」、③施設を広くアピールする「広報・宣伝」の3つのテーマで考えました。



てるてる坊主チーム

- 事業計画**・ホリプロに協力頂いての施設管理
パブリックビューイング、スポーツとの合体
- 利用規則**・市民・市内在勤者は減免
経費のムダにならない利用の仕方
- 広報宣伝**・電車の吊り広告を活用
地方版新聞に催しを掲載
- その他**・トイレは階段なしでバリアフリー対応



あじさいチーム

- 事業計画**・他施設（商業等）とのコラボで「利用率」をアップ
- 利用規則**・電子マネーを使用できるようにする
- 広報宣伝**・古河をアピールするためにもネーミングを幅広く一般応募
- その他**・多種類の交流の場として、国籍・近隣・地域の人々が研修できる



かえるチーム

- 事業計画**・スポーツ、市民参加型の芸術、音楽の合体
- 利用規則**・利用料金の細分化
利用料金は高校生までは免除！
- 広報宣伝**・古河駅にデジタルサイネージを！
公会堂独自の SNS（インスタなど）
- その他**・運営は古河市を知っている民間事業者



雨傘チーム

- 事業計画**・近隣の芸術団体への披露の場
市民オケ、演劇等の市民参加
- 利用規則**・「朝活」タイムを作る
市内外を区別しない料金体系
- 広報宣伝**・「空き」情報はリアルタイムで知る
PRムービー作成
- その他**・地域の文化を育成する



裏面ではグループワークで出たご意見を紹介しています！

新公会堂の使い方を考える				※かえるチームの事業計画の分類例： [A] 鑑賞 [B] 普及・参加 [C] 育成 [D] 交流・連携	
てるてる坊主	事業計画	利用規則	広報宣伝	その他	
	・創作なしなどにホリプロと連携してみる ・指定管理者はアイデア・企画に優れた人+行政 ・<u>ホリプロさんに協力頂いての施設管理</u> ・自主、貸館の共用 ・<u>ホリプロさんの技術（裏方）さんに常駐していただき、施設の管理やメンテナンスを行っていたく</u> ・鑑賞、育成、交流の3つの軸で検討 ・おはやし（地域伝統）、神楽（地域伝統） ・小中学生の発表会（演劇・ブラスバンド・合唱 etc） ・第九の市民参加 ・古河市国際交流フェスティバル ・スポーツ、市民参加型の芸術・音楽の合体 ・パブリックビューイング、スポーツとの合体 ・高校サッカー・少年サッカー・相撲・水泳・陸上、古河出身の方の応援 ・クラシックコンサート、ミュージカル（プロの方） ・プロの方による舞台鑑賞 ・高いレベルの舞台・幼児からの鑑賞 ・文化芸術音楽のプロを呼び、指導を受けながら市民参加型のオペラ公演を目指す	・経費のムダにならない利用の仕方を考える ・開館時間 <9:00 ~ 21:00> 夜の人の移動が少なくなるから ・定期休館日は設ける（平日で） ・放課後、夜間（若い人、学生） ・1時間からの施設貸出 ・イベントの無い日にも利用できるカフェ、屋外広場、人の流れ ・<u>市民・市内在勤者は減免</u>（市外料金との差を作る） ・減免による利用料金 ・<u>インターネット予約と窓口予約の併用</u>（2カ月先まで） ・2年～3年での予約が必要 ・<u>市役所窓口機能</u> ・<u>福祉施設の方による販売等はOKに！</u> 営利との差別化	・HP、古河駅掲示 ・スーパーマーケット、各公共施設 ・電車の広告を活用（棚上部分とか） ・例えばアンテナショップでの古河市のPR ・SNSの活用（例：古河市出身の有名名人に<u>ちゃんとフォロワーになってもらう</u>） ・ケーブルテレビ ・<u>新聞（読売・朝日・毎日）地方版に催しを載せてもらう</u> ・記者クラブにアクションする ・古河市の企業にスポンサーになってもらいPRする	・トイレは階段なしで設置 ・バリアフリー対応（地下はNG） ・LGBTQ トイレ ・エントランスに壁画を描いてもらう（例：浅野さんとか）	
	事業計画	利用規則	広報宣伝	その他	
	・管理運営主体の的確な選定 ・運営するコンセプトを明確化 ・運営コンセプトの mast 「利用率アップ」「他施設（商業等）」とのコラボ ・商業イベントの開催なども可能としたい（ある程度の収益性も考慮したい） ・ハードの適切・確実な管理 ・サステナブルな省エネの運営 ・自主事業が良い→理由：内容が豊富になる、利用回数が多くなる、責任の所在 ・「事業」「利用規則」「広報宣伝」をまとめあげるにはロケーションがキー ・PFI、PPP を早期に検討すべき ・「事業」「利用規則」「広報宣伝」のために商業と密接なコラボが可能容易なロケーションは mast ・「未来開発事業」として民間によるホール施設と商業施設等の複合整備でホール部は借りる ・建設候補地の古河体育館解体後は、武道館や県立図書館とする ・「たばこ公社」「NTT データ」跡地開発にも民間活力を導入。警察移転も含める ・消防、電気等点検費用民間会社にて負担。管理は古河市	・個人情報扱う貸出、ホール借り等は古河市担当 ・電子マネー（Suica 等）使用できるようにする ・古河市にて扱う貸出など、マイナカード利用にてポイントを付与させることはできないか ・利用規則は運営・コンセプトに基づく。運営・コンセプト（目標）を最大化する利用規則とするべき ・館長は著名人に ・休館あり	・広報宣伝は運営・コンセプトに基づく。運営・コンセプト（目標）を最大化する広報・宣伝とすべき ・駅、道の駅、商店街、大通り等にフラッグ設置 ・市からの例（提案）通りでいい ・インスタ、X、YouTube を見てきた人に「合言葉」を出すことでまんじゅうをプレゼント ・古河をアピールするためにもネーミングを幅広く一般応募 ・古河のホールにしかないものを大きくアピールする（例：水戸＝小澤征爾、岩井＝アシュケナージ（ピアノ）） ・災害時対策をアピール（全市民にとって一番公平なもの） ・ネーミングライツ活用 ・ネーミングライツのこれまでの当たり前をもっと前にして、できる限り民間に出させて企業イメージアップ ・ネーミングライツ利用。企業による出資。管理は古河市 ・キャバは 1300 席で OK。茨城県古河市出身の芸人、アーティスト招へい。常に何かしていること	・「新公会堂」というネーミングは再考する必要あり ・幼→小→中→高→一般等、育成を目標としての場 ・多種類の交流の場として、国籍・近隣・地域の人々が研修できる ・文化的の他にも多様性（室内スポーツ） ・京都でのインバウンド滞留のように建物作ると、駐車場をセットに考える必要あり	
あじさい	事業計画※	利用規則	広報宣伝	その他	
	・優先は①B：普及・参加事業②A：鑑賞事業③C：育成事業 ・[B] 市民と一緒に企画運営 ・[C] 部活動（吹奏楽、演劇） ・[C] 伝統文化を子どもが体験し、学び発表！ ・[D] 姉妹都市との交流 ・[D] 国際交流 ・[A] クラシック、映画、吹奏楽、演劇、伝統芸能 ・[A]①ロックライブ・フェス②映画③子ども向け演劇④大衆演劇⑤落語・お笑い ・[A] 映画館がないので上映会をしてほしい ・[D]JAZZ フェス ・[D] 市民芸術祭 ・[B] 第九合唱 ・[B] 芸能体験 ・[B] 演劇体験 ・[B] イベントへ参加 ・市民団体の発表をメインにしつつ、大ホールにて興行も積極的に行う	・基本 9 時～22 時（24h 可）ただし、利用規則の中で「申請し市長の承認が得られればこの限りではない」を入れ、裁量を持たせる ・開館日／休館：休み週 1～2+年末年始 ・365 日開館 ・9 時～22 時 ・時間単位で貸出 ・開館時間 9 時～22 時 ・貸出区分：午前・午後・夜間 ・開館：9 時～22 時※事業内容によって延長もあり ・利用料金の細分化 ・利用枠は 1 時間ごとに分ける。利用料は取る ・利用料金は高校生までは免除！ ・インターネット予約	・市 HP ・市 SNS ・市広報「古河」 ・市独自情報誌 ・施設の情報誌（地域の活動や情報を発信） ・古河市公式とは別のインスタページ ※混ざるとわかりにくい ・（仮称）公会堂独自のライン、インスタ、X を開設する ・ホールを知ってもらうために利用者を集めたイベント企画 ・古河駅に宣伝版（デジタルサイネージ）を！ ・古河出身のインフルエンサーの活用	・運営は業者、管理は市 ・PFI 等の官民連携により、施設の管理運営は民間事業者 ・市職員だと異動も多く、専門的な知識を身に付けるのは難しい→民間活力！ ・古河のことを知り、古河への想いのある事業者さんを！	
	事業計画	利用規則	広報宣伝	その他	
	・プロのオーケストラ等、演奏会 ・ミュージカル ・オペラ ・ダンス ・伝統芸能 ・落語、お笑い ・プロ歌手 ・バンド等コンサート ・のど自慢 ・おかあさんといっしょ ・利益を優先するのではなく、主催する人たちの考えをよく聞いて幅広く活動できる場にしてほしい ・自主事業と貸館併用 ・古河の歴史を学ぶ、知る、気づく ・市民オケ、吹奏楽等演奏会 ・市民演劇等発表 ・近隣の芸術団体への披露の場とする ・本物を鑑賞する（演劇は劇団四季、オケは日本フィルとか） ・企画事業を定期的に行う ・人間国宝、能楽師に古河出身のプロがいる	・学生は無料 ・市内外を区別しない料金体系 ・クラシックの公演は割引する ・朝は出勤前、夜は学校帰り ・利用時間：5 時～など「朝活」タイムを作る ・開館は年中無休を原則（メンテナンス以外） ・365 日休みなしの方がよい ・調理実習などの使用時間は 9 時～12 時でない方がよい※時間貸し OK ・物品販売をゆるやかに認める ・共用部に一般業者出店可能に（料金は設定する） ・（利用料金）リピート割引（3 回目から割引、5 回目半額 etc） ・どうすればできるか→ルール変更可！ ・利用ルールはあるが、どうしたらできるかを考えながら運営する ・3 人ほどで自主管理（特典？） ・自主管理（現状回復）→利用者に責任	・「空き」情報はリアルタイムで知れる ・QR コードとの連動（バス・電車・タクシーなど） ・PR ムービー作成（1 分程度のショート ver、3 分程度のロング ver）	・役所や教員、特に校長等の天下にしない。特に館長！ ・地方のホールは地域の文化を育成することが主体 ・運営委員会を民間に委ねる ・照明、音響等の専属スタッフ ・インターネット予約 ・クレジットカード支払い可	
雨傘	事業計画	利用規則	広報宣伝	その他	
	・創作なしなどにホリプロと連携してみる ・指定管理者はアイデア・企画に優れた人+行政 ・<u>ホリプロさんに協力頂いての施設管理</u> ・自主、貸館の共用 ・<u>ホリプロさんの技術（裏方）さんに常駐していただき、施設の管理やメンテナンスを行っていたく</u> ・鑑賞、育成、交流の3つの軸で検討 ・おはやし（地域伝統）、神楽（地域伝統） ・小中学生の発表会（演劇・ブラスバンド・合唱 etc） ・第九の市民参加 ・古河市国際交流フェスティバル ・スポーツ、市民参加型の芸術・音楽の合体 ・パブリックビューイング、スポーツとの合体 ・高校サッカー・少年サッカー・相撲・水泳・陸上、古河出身の方の応援 ・クラシックコンサート、ミュージカル（プロの方） ・プロの方による舞台鑑賞 ・高いレベルの舞台・幼児からの鑑賞 ・文化芸術音楽のプロを呼び、指導を受けながら市民参加型のオペラ公演を目指す	・経費のムダにならない利用の仕方を考える ・開館時間 <9:00 ~ 21:00> 夜の人の移動が少なくなるから ・定期休館日は設ける（平日で） ・放課後、夜間（若い人、学生） ・1時間からの施設貸出 ・イベントの無い日にも利用できるカフェ、屋外広場、人の流れ ・<u>市民・市内在勤者は減免</u>（市外料金との差を作る） ・減免による利用料金 ・<u>インターネット予約と窓口予約の併用</u>（2カ月先まで） ・2年～3年での予約が必要 ・<u>市役所窓口機能</u> ・<u>福祉施設の方による販売等はOKに！</u> 営利との差別化	・HP、古河駅掲示 ・スーパーマーケット、各公共施設 ・電車の広告を活用（棚上部分とか） ・例えばアンテナショップでの古河市のPR ・SNSの活用（例：古河市出身の有名名人に<u>ちゃんとフォロワーになってもらう</u>） ・ケーブルテレビ ・<u>新聞（読売・朝日・毎日）地方版に催しを載せてもらう</u> ・記者クラブにアクションする ・古河市の企業にスポンサーになってもらいPRする	・トイレは階段なしで設置 ・バリアフリー対応（地下はNG） ・LGBTQ トイレ ・エントランスに壁画を描いてもらう（例：浅野さんとか）	
	事業計画	利用規則	広報宣伝	その他	
	・管理運営主体の的確な選定 ・運営するコンセプトを明確化 ・運営コンセプトの mast 「利用率アップ」「他施設（商業等）」とのコラボ ・商業イベントの開催なども可能としたい（ある程度の収益性も考慮したい） ・ハードの適切・確実な管理 ・サステナブルな省エネの運営 ・自主事業が良い→理由：内容が豊富になる、利用回数が多くなる、責任の所在 ・「事業」「利用規則」「広報宣伝」をまとめあげるにはロケーションがキー ・PFI、PPP を早期に検討すべき ・「事業」「利用規則」「広報宣伝」のために商業と密接なコラボが可能容易なロケーションは mast ・「未来開発事業」として民間によるホール施設と商業施設等の複合整備でホール部は借りる ・建設候補地の古河体育館解体後は、武道館や県立図書館とする ・「たばこ公社」「NTT データ」跡地開発にも民間活力を導入。警察移転も含める ・消防、電気等点検費用民間会社にて負担。管理は古河市	・個人情報扱う貸出、ホール借り等は古河市担当 ・電子マネー（Suica 等）使用できるようにする ・古河市にて扱う貸出など、マイナカード利用にてポイントを付与させることはできないか ・利用規則は運営・コンセプトに基づく。運営・コンセプト（目標）を最大化する利用規則とするべき ・館長は著名人に ・休館あり	・広報宣伝は運営・コンセプトに基づく。運営・コンセプト（目標）を最大化する広報・宣伝とすべき ・駅、道の駅、商店街、大通り等にフラッグ設置 ・市からの例（提案）通りでいい ・インスタ、X、YouTube を見てきた人に「合言葉」を出すことでまんじゅうをプレゼント ・古河をアピールするためにもネーミングを幅広く一般応募 ・古河のホールにしかないものを大きくアピールする（例：水戸＝小澤征爾、岩井＝アシュケナージ（ピアノ）） ・災害時対策をアピール（全市民にとって一番公平なもの） ・ネーミングライツ活用 ・ネーミングライツのこれまでの当たり前をもっと前にして、できる限り民間に出させて企業イメージアップ ・ネーミングライツ利用。企業による出資。管理は古河市 ・キャバは 1300 席で OK。茨城県古河市出身の芸人、アーティスト招へい。常に何かしていること	・「新公会堂」というネーミングは再考する必要あり ・幼→小→中→高→一般等、育成を目標としての場 ・多種類の交流の場として、国籍・近隣・地域の人々が研修できる ・文化的の他にも多様性（室内スポーツ） ・京都でのインバウンド滞留のように建物作ると、駐車場をセットに考える必要あり	

次回予告！

第 5 回のワークショップのテーマは、「市民参画について考える」です。これまで出された意見を踏まえ、（仮称）新公会堂ができるまで、開館後の市民参画について考えます！